

各位

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

第45回理事会の内容につき、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 開催日時 2020年12月15日(火)
午後4時00分～午後5時00分

1. 開催方法 オンライン

1. 理事総数 29名
出席理事数 20名

<出席理事の氏名>

池田弘	新本恭雄	井川幸広	宇尾野隆	大山健太郎
小野兼資	神山治貴	剣持忠	塩井保彦	下村朱美
鵜田勝彦	貫正義	日比野三吉彦	平沼大二郎	松田修一
三木康弘	吉井信隆	吉原直樹	若林順平	荒木匠

1. 監事総数 2名
出席監事数 2名

<出席監事の氏名>

佐藤歳二 梅田常和

冒頭、荒木専務理事より新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前回に引き続きオンラインで理事会を開催する旨の説明の後、池田会長より開会の挨拶があった。

引き続き荒木専務理事より、現理事総数29名の内、本人出席20名につき、理事会成立の過半数15名を上回っており、本会は適法に成立している旨報告があった後、審議に入った。

1. 決議事項

第1号議案 賀詞交歓会オンライン開催の件

荒木専務理事より、資料①に基づき、例年1月に開催している賀詞交歓会について、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、止む無く会場での開催を中止しオンラインにて開催したい旨の説明と、併せてオンラインでの開催概要について説明があった。

審議に入り全員異議なく原案通り承認可決した。

第2号議案 政策提言「政府方針カーボンニュートラルの実現」の件

荒木専務理事より、資料②に基づき、本件は剣持副会長より「カーボンニュートラルの実現」に向け、JNBとして政策提言を提出したいとの意向があり上程したとの説明があった。

まずは剣持副会長と政策委員会委員長の松田副会長より説明があり審議に入った。参加理事からの複数の意見を踏まえ、議長より継続して勉強できる仕組みを作り、研究・議論していき、JNBとしてどのような形で提言が出来るか、すべきかを議論していきたいとの説明があり、引き続き継続して議論することとなり決議に到らなかった。

参加理事の意見は以下の通り。

・大山副会長

カーボンニュートラル、地球温暖化に関してはよく理解できるが、緊急で提出する理由が分からない。協議会の意見として提出するには拙速すぎるので、じっくり時間をかけて取り組み検討し、会員全員の相違を聞かなければならない。炭素税を上げたから、GDPが伸びたというのも少し乱暴な議論ではないか。

・貫副会長

カーボンニュートラルを進めるのは大事なことで、それに伴う技術開発を進めることも大変重要。菅首相の2050年までのカーボンニュートラルに対する発言で、既に大きな影響を与えている。これから日本は、それに向けた技術革新が大きく動いていけよう。そして、カーボンプライシングは、それらの技術革新を進めていく原資としては有効であろう。しかし、総合的に判断したときに、実際に実施した際に経済に与える影響はどうか。個々に早急に答えを出すわけにはいかないのではないかと。

・佐藤監事

提言の内容に関して、個人的には賛同できるし、政府の基本方針に方向性として一致しているので有益な見解である。しかし、監事の立場から述べると、JNBは公益社団法人であり、確かに定款第四条では「ベンチャーのニュービジネスの発展にかかる経済社会問題に関する政策提言をする」ことが、事業の目的の一つになっているため、政策提言をすること自体は公益性との問題はないが、この法人の特徴である、会員の多様な業界、そして全国各地に存在していることを踏まえると、特定の政策提言が、会員全員の共通の利益になれば問題ないが、仮にそれが業種の異なる会員同士の間に関係が生まれてくることになると、理事会の多数決の原理で採択すると、少数の会員の権利や思想の自由を侵す恐れが出てくる。公益性を重んじなければならない団体が、どこまで政治活動ができるかは、様々

な場で判例になっているが、共通の利益になることについて提言することは良いが、団体として提言する場合は、この提言について反対意見を持つ会員がどのくらいいるのかを確認してからの方が良いのではないかと。

これまでの JNB の政策提言を見ると、会員共通の利益になるものになっているので、今回の提言は、いろんな意見が出るテーマだと思うので、そのあたりを十分検討した上で結論を出したほうが良い。

- ・ 神山副会長

参考資料 2 の内容を読むと、カーボンプライシングを導入したことによって、一人当たりの GDP が上がっていったような印象を与える書き方だが、実際もしイギリスやドイツと同じタイミングで、日本がカーボンプライシングを導入していたら、同じように GDP が上がったのだろうかと考えると、そんなことはなく、他の要因がたくさんあったわけであり、だからこそ日本において、失われた 20 年 30 年と言われることが起きている。カーボンプライシングを導入すれば、経済がうまくいくという雰囲気聞こえるのは良くないと思うので、もう少し多面的な角度から分析・考察してまとめていく必要がある。

- ・ 梅田監事

カーボンニュートラルに対しては、全世界的に取り組んでいかなければならない問題であることは共通の認識であるが、それがカーボンプライシングと混同され、カーボンニュートラルを実現するためには、カーボンプライシングが重要なキーであるという論理的な繋がりがなく導入を声高に主張するのは、この協議会としては早いと感じた。カーボンプライシングがないと、カーボンニュートラルは実現できないのか、という論理性も納得できない面があり、5 つの大きな政策の中の 5 つ目、カーボンを出す側と吸収する側について、日本は自然に恵まれているが、森林業とプライシングはどう結びつくか等も理解できないところがあったので、分かりやすく会員の皆さんにも提示してもらいたい。

- ・ 下村理事

東京 NBC にいたとき、サービス業の海外進出教育費の補助金の事業で政策提言をしたことがあった。その当時、高原一郎氏が中小企業庁の長官をされていて、その時に教育費用が大変だという話をしたら、すぐに提言書を作成することを勧められ、経産省のアドバイスも受けながら半年くらいのうちに提言を提出し、20 億円の予算をつけてもらえた。後から知ったが、商工会議所や経団連等の経営者団体が同じように提言書を提出したことがあったので、その提言書を提出してほしかったことが分かった。今回も、そのような要請が政府側からあったのかなと思った。それは、JNB にとっては悪いことではないと思っている。

- ・ 井川理事

賛成でも反対でもないが、知らない分野なので勉強になっている。実際、東京 NBC の中でも、ものづくりをしているや大きな環境問題に直面している企業は多いと感じている。世界的な大きなテーマでいうと、環境問題に取り組むべきであり、その場合の時間軸をどうとるのか、そして、どのような新しいビジネスチャンスが生まれるのかという思考に持っていくためにも、東京 NBC の政策提言の中でも会員の意見を聞いてみたい。

結論ということではなく、東京 NBC として、環境問題にストレートに関わっているとこも含めて、議論のアイディアとしてもらいたいと思う。このような問題をしっかりと植え付けることも大変かなと感じている。

- ・日比野理事

名古屋では、自動車産業がカリフォルニア 2035 によって様々な規制が出てきている中、EV や燃料電池車、ハイブリッドやプラグインハイブリッドなど、従来車から次の時代にどのように生き残っていくか、自動車産業に関わる人たちもいろいろ考えている。その中で、今回の提言も、もう少し現実的な世の中の流れの中で、研究会のようなものから始めていくと良いのではないか。大きなテーマだから非常に難しいが、一つ一つの産業で取り組んでいることは異なるため、その中で一つずつ落とし込んでいき、このような活動につなげていく研究をしていくのが良いのではないか。

- ・松田理事

カーボンニュートラルをどのような時間軸で行っていくか、そして、その時間軸をベースにしてプライシングをどこまで高めていくのか。コストと効果と、それを促進させるための支援をどのようにセットで行っていくか等を、日本においてはどうすべきかを時間をかけて情報を詰めていく必要がある。既存の組織とは違った、ニュービジネス創出という団体であることに合わせた方向を含めて、もう少し深堀が必要だという印象を持った。

- ・吉井理事

スタートアップベンチャーのレノバという、千本さんが会長をしている再生エネルギーの会社が、菅首相の 2050 年に脱炭素社会をつくりたいという明言を受けて、2400 億円の時価総額になった。これは一つの現場の反応・動きであり、そのことを共有させていただけたら。それぞれの業種業態によって、雇用と事業展開をしていると、既得権益を守っていく観点からカーボンプライシングは難しいという意見は承知しているが、カーボンニュートラルということは世界の潮流であるし、この大きな世界の流れに沿った提言ということで、NBC としては、きちんとエビデンスをとりながら提言していく方向で議論を深めていったら良いのではないかと思う。

- ・剣持理事

どのようにカーボンニュートラルを実現するのか、また既得権益を優先するような政策提言は出したくないと思っている。

1. 報告事項

- 1) 2020 年度全国フォーラム開催報告について
- 2) 内閣府立入検査について
- 3) 令和 2 年 7 月豪雨災害義援金 贈呈報告について

荒木専務理事より、報告事項の資料③④⑤について、理事会の終了時間を過ぎているので、各資料をご確認いただき、質問など必要に応じて事務局まで連絡してほしい旨の説明があった。

以上をもって第45回理事会の議案決議及び報告等は終了し、議長は閉会を宣言した。

※詳細に関しましては、事務局にて「議事録」が備え付けられています。

< JNB事務局 > 03-3584-6077